

郵趣振興協会 活動報告（20）

2021 年度 第 4 Q

2021 年 12 月 10 日～2022 年 3 月 3 日

特定非営利活動法人 郵趣振興協会

特定非営利活動法人 郵趣振興協会(以下「当協会」と略す。)は、その活動について広く伝えるため、3ヶ月に一度レポートを発行し、電子メール等で正会員・賛助会員にお伝えすると共に、無料でご掲載いただける雑誌媒体に同一内容を提供しております。

全国切手展「スタンベックス ジャパン 2022」の開催に向けた活動が本格化

本年 3/26-28 に開催を予定している全国切手展「スタンベックスジャパン 2022」の開催に向けて、審査委員会・実行委員会の活動がそれぞれ本格化しています。

審査委員会は、12月21日の出品作品募集締め切り後、展示作品を決定し、提出書類による事前審査を開始しました。

実行委員会は、12月21日締切の出品作品応募者に対して同月27日にアクセプト結果を郵送すると共に、1月1日に展示アクセプト作品を発表。その後、出品料納付・出品封筒の送付・作品搬入に関するご案内を行うと共に、ご協賛いただいているスタンベディアプロジェクトに、公式目録の製作依頼を行いました。

2月に入ると、共催の郵政博物館との打ち合わせを重ねると共に、実行委員の募集を開始し、設営・撤去並びに審査事務の支援・開催期間中の対応及び目録以外の製作物の作成と広報・宣伝も準備しております。

開催まで一ヶ月強ですが、COVID-19 感染症の状況を見極めつつ、最適な形で全国切手展の開催ができるように準備しておりますので、ご出品者はもちろんご参観いただく方もご期待ください。

第 5 期決算ならびに第 6 期予算作成に着手

当協会は会計処理の透明化の為、決算業務ならびに予算策定を迅速に行い、総会に諮るようになっています。第 5 期は期末にスタンベックスジャパン 2022 という予算規模の大きい行事の開催があるため、3月31日の決算締め後、4月中に総会を開催できるように議案の取りまとめ並びに決算経理に着手しました。

なお、これに先立ち、2022年度の正会員・賛助会員の継続並びに新規入会の募集を3月中旬より開始する予定です。現会員の皆様には是非ご継続をご検討いただきたいと考えております。よろしくご願ひ申し上げます。

各種事業の進捗について

当協会は5つの事業「エキシビジョン事業」「フィラテリー必需品サプライ事業」「リサーチ及び研究推進事業」「フィラテリックPR事業」「次世代育成事業」を行っています。当クォーターにおける、各事業及び総務ほかの進捗をご報告いたします。

エキシビジョン事業

スタンペックスジャパン2022実行委員会（横山裕三 実行委員会事務局長）」の活動

12/21 出品受付の締切

12/27 応募者へのアクセプト通知の郵送

12/28 審査委員会（佐藤浩一審査委員長）の各審査員への事前審査資料の提出

1/21 出品者に、出品物提出封筒を送付

郵博 特別切手コレクション展（2021年度）の開催。

11/20-12/23 第4回南方占領地のフィラテリー展(博物館展示は、11/20-21のみ)

1/4-1/16 富士鹿切手発行百年記念切手展

2/5-2/6 第4回いずみ展

郵博 特別切手コレクション展（2022年度）の郵政博物館における開催日程を追加。

2023/2/4-5 第5回いずみ展

郵政博物館主催事業への協力

12/4-12/26 絵手紙展『みんなで応援！絵手紙でエール!!』へのパネル貸与

フィラテリー必需品サプライ事業

「ヒンジ・カバー用コーナー・透明マウント」の3品目を最重要対象品とした、Amazon.co.jpにおける供給体制を維持。(本事業は随意契約の形で、無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社に委託しています)

リサーチ及び研究推進事業

リーフ作成雛形提供事業の準備を継続中

フィラテリックPR事業

ウェブサイトにおける情報発信を実施（12-2月で16件。対前四半期-20%）

オンライン郵趣例会 振興プロジェクト（斎享リーダー）の活動の継続

(1) 当協会が、技術および宣伝協力した、オンライン郵趣例会の開催

日本切手研究会 6回

外国切手研究会 6回

昭和切手研究会 3回

南方占領地切手コレクターズクラブ 3回

(2) WEBセミナーの主催

スタンペックスジャパン2022出品者向け リーフ作成技術 個別指導会を開催

(1/16, 1/30, 2/13) 担当；吉田敬代表理事、のべ参加者数 7名

(3) オンライン郵趣例会を開催する切手サークルに対する集客支援方法の提供

当協会ホームページにおける、例会報告コーナーの提供

外国切手研究会 4回

南方占領地切手コレクターズクラブ 2回

当協会では、今後とも、技術面およびマーケティング面で様々な取り組みを行うことで、オンライン郵趣例会の振興を図っていきたいと考えております。

次世代育成事業

特になし

総務ほか

総会決議を受けて、登記変更の準備（対応中）

第5期決算の準備

第6期予算・事業計画の策定

日常的な経理業務、問合せ業務への対応

（報告者：代表理事 吉田敬）